

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第3期

NEDO担当部：自動車・蓄電池部
 担当課：内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

概要

(1) 事業概要

- 総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI) が司令塔機能を発揮して、府省の枠や分野を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクト。
- 2023年度から開始したSIP第3期では、Society 5.0の実現に向けてバックキャストにより社会的課題の解決や日本経済・産業競争力にとって重要な14課題を設定。
- 技術だけでなく事業、制度、社会的受容性、人材の5つの視点から検討を行うことで、社会実装に向けた戦略的な取組を進める。

(2) 推進体制・事業内容

- ガバナリングボードが課題ごとにプログラムディレクター (PD) を決定し、PDを中心として事業を推進する。
- NEDOは、14課題のうち研究推進法人として以下の3課題を担当する。
 - スマートモビリティプラットフォームの構築
 - 人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備
 - バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備
- 研究推進法人は、内閣府が設定する以下の指針・計画に基づいて研究開発の推進に係るマネジメント業務を行う。
 - 戦略的イノベーション創造プログラム運用指針
 - 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画
- 研究開発を円滑に推進するため、総合調査研究及び事業運営支援業務を外部機関に委託する。また、本業務の委託先がプロジェクトマネージャー (PM) を委嘱し、PM指示のもとで当該業務を実施する。



戦略的イノベーション創造プログラム第3期の14課題 (内閣府)

(3) 事業形態

- 事業期間：2023～2027年度
- 予算金額：46億円 (2025年度) 【一般】
- 支援形態：委託
- NEDO根拠法：第十五条第二号及び第九号

(4) 各課題の事業内容・実施体制

- 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) ポータルサイト https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100072.html

実施体制

内閣府 総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)

ガバナンスボード



プログラムディレクター

PD：石田 東生／サブPD

スマートモビリティ
プラットフォームの構築

経済産業省 製造産業局

自動車課 モビリティDX室



プログラムディレクター

PD：山海 嘉之／サブPD

人協調型ロボティクスの拡大に向けた
基盤技術・ルールの整備

経済産業省 製造産業局

産業機械課 ロボット政策室



プログラムディレクター

PD：持丸 正明／サブPD

バーチャルエコノミー拡大に向けた
基盤技術・ルールの整備

経済産業省 イノベーション・環境局

イノベーション政策課 フロンティア推進室

研究推進法人：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

プロジェクトマネージャー

PM／サブ課題担当PM

調査分析・業務支援機関

(委託)

研究開発実施先 (委託)

・ 詳細は内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」を参照

プロジェクトマネージャー

PM

調査分析・業務支援機関

(委託)

研究開発実施先 (委託)

・ 詳細は内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」を参照

プロジェクトマネージャー

PM

調査分析・業務支援機関

(委託)

研究開発実施先 (委託)

・ 詳細は内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」を参照

スケジュール

	2023	2024	2025	2026	2027
スマートモビリティ プラットフォームの構築	<ul style="list-style-type: none"> SIP「評価に関する運用指針」に基づき、ガバニングボードが毎年度課題評価を実施 				
人協調型ロボティクスの拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度は中間評価、2027年度は最終評価を実施 NEDOは運用指針に基づき、自己点検並びにピアレビュー等を実施 「戦略及び計画」や進捗状況に基づき、PD・内閣府及び経済産業省と協議の上、必要に応じて公募を実施 フィールドビジットの開催による事業者間の情報交換・連携促進や、イベントへの参加による進捗状況のPR 				
バーチャルエコノミー拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備	<ul style="list-style-type: none"> 社会実装の具体化に資する調査の実施 				
実績額（億円）	48.2	47.4	46.0	—	—
予算額（億円）	—	—	—	※	※

※毎年度、ガバニングボードが各課題の予算配分額を決定